

令和8年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査  
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月9日（木）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月23日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学校報告会等でもお伝えします。

学校教育目標

豊かな心を持ち たくましく生きる 栗木台の子

○進んで学ぶ子    ○心あたたかい子    ○高めあう子    ○元気な子

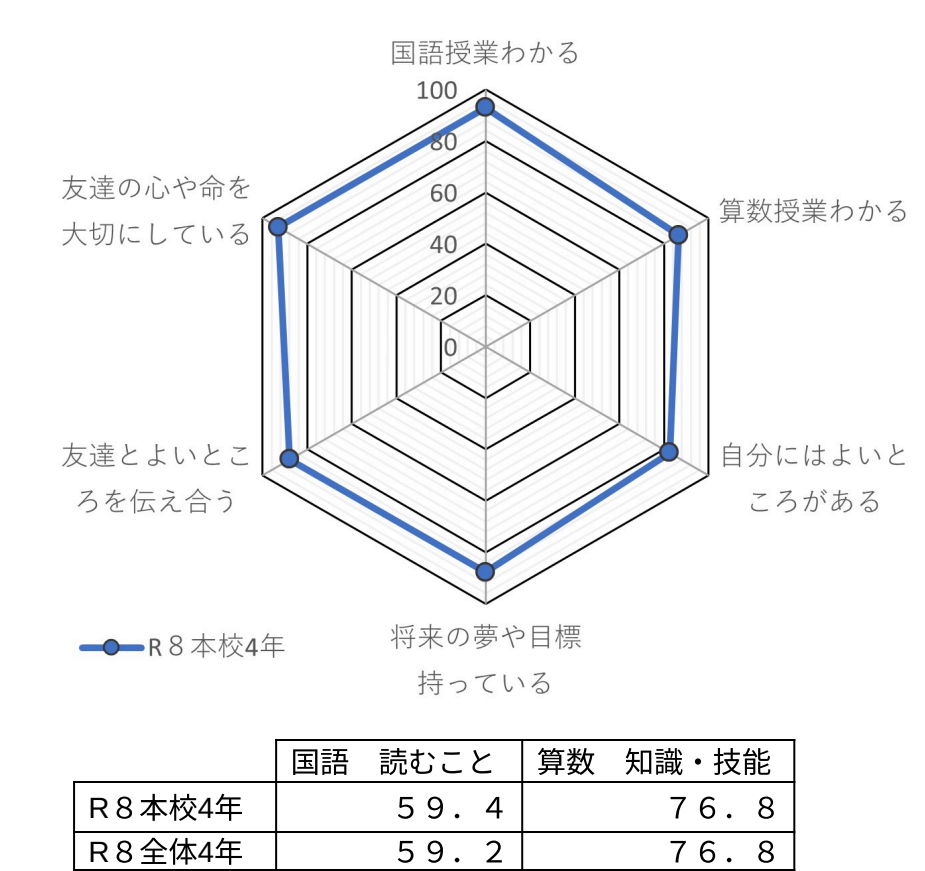
学校経営目標

【学び合う学校（学びの育ち）】    ○自分で考え、自分で判断し、問題解決ができる子

【支え合う学校（心の育ち）】    ○自分に自信をもち、自分を好きになる子

○友達のよさを認め、誰に対しても優しくできる子

令和8年度 川崎市学習状況調査 4年生



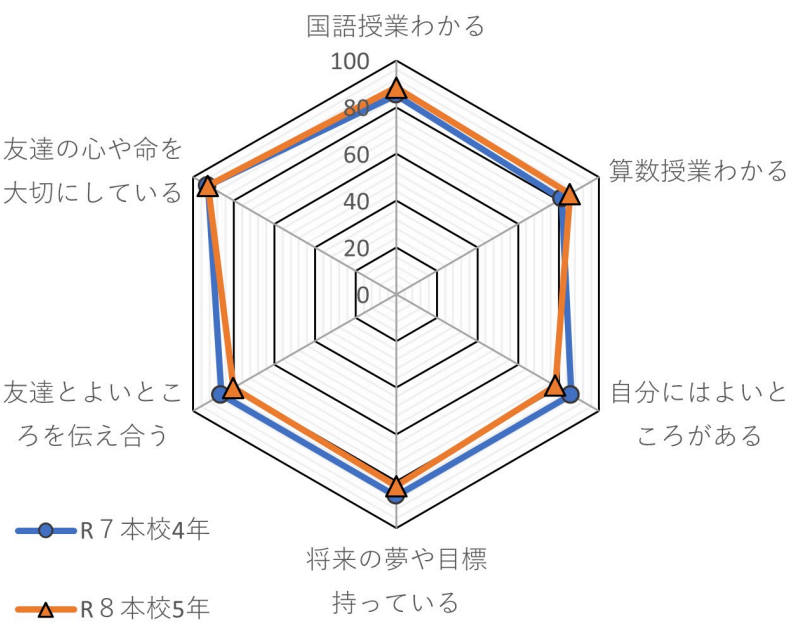
・国語の授業がわかる（授業への肯定感） 肯定的な回答（R8本校4年）は92.9%であり、6観点の中で最も高い水準です。多くの児童が国語の学習で「わかる」と感じており、自信をもって取り組んでいることが伺えます。「国語 読むこと」の正答率については、本校は59.4%（全体は59.2%）でした。学習に対する自信を大切にしながら、「読み解く力」を高められるようよう支援していきます。

・算数の授業がわかる（授業への肯定感） 肯定的な回答は86.7%で、8割以上の児童が、算数の学習で「わかる」と感じています。「算数 知識・技能」については、本校の正答率が76.8%、全体も76.8%と同じ水準です。友達と考えを伝え合うことや、復習を大切にしながら、理解したこと定着できるよう支援していきます。

・自分にはよいところがある（自己肯定感） 学校経営目標（心の育ち）の「自分に自信をもち、自分を好きになる子」につながる項目で、肯定的な回答は82.6%です。4年生という他者との比較が始まる発達段階を踏まえ、互いによさを認め合う場を設けたり、係活動でクラスのために行動できるようにしたりして、自己有用感を高められるよう支援していきます。

・友達とよいところを伝え合う（他者承認・関わり合い） 学校経営目標（心の育ち）の「友達のよさを認め、誰に対しても優しくできる子」につながる項目で、肯定的な回答は87.8%です。9割近くの児童がもっている 肯定的な声かけを大切にする意識を、授業中の対話的な学び（ペアやグループワーク）の充実に活かしていきます。

令和8年度 川崎市学習状況調査 5年生



|          | 国語 読むこと | 算数 知識・技能 |
|----------|---------|----------|
| R 8 本校5年 | 5 2     | 7 4      |
| R 8 全体5年 | 4 8     | 6 9      |

・「国語の授業がわかる」は、昨年より3ポイントアップした88ポイントでした。わからない言葉があれば、辞典やGIGA端末などを使って調べる児童が増えたり、授業内でのペアやグループの話し合いから、よりよい自分の考えにつなげていると実感したりしている児童がふえていることが、全国を上回る学力の維持につながったと考えられます。

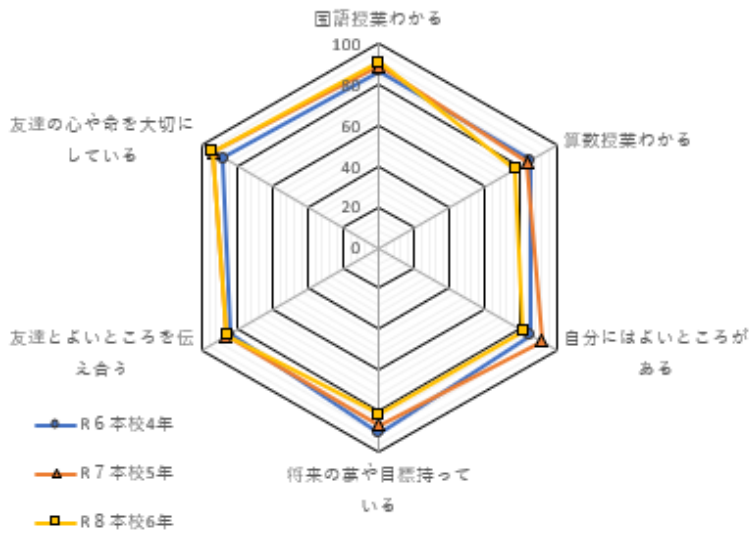
・「算数の授業がわかる」は、昨年より4ポイント近くアップした85ポイントでした。問題の場面について、図や表、式や言葉などをつなげて、自分の考えをもとしたり、説明しようとしていたりしている児童が増えていることが要因だと考えられます。

どちらの教科の学習も、これまでの取組を継続していくとともに、ふり返りにも重点をおいてしっかり時間をかけ、成果と課題を言語化し、学習内容の定着を実感できるようにしていきます。

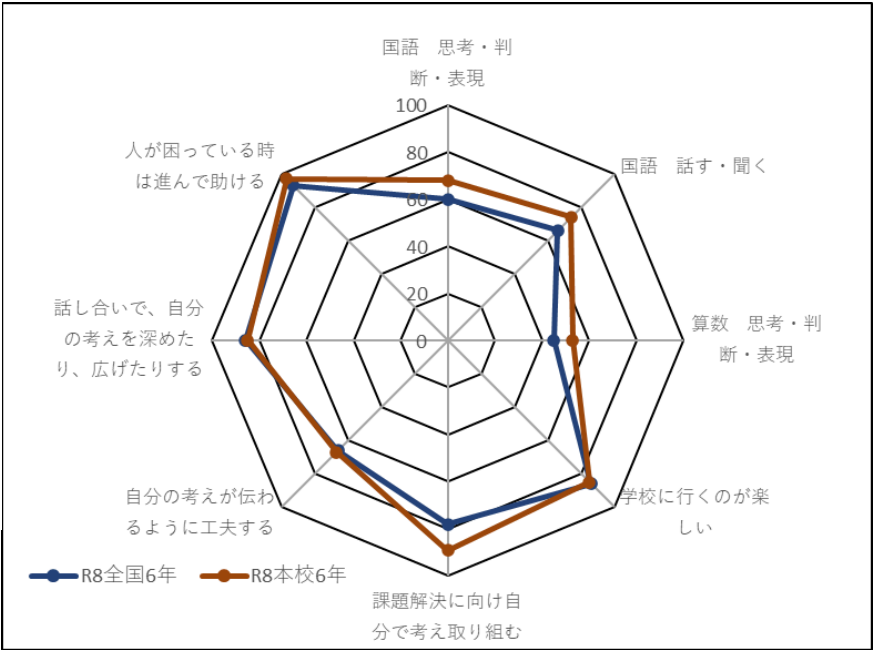
・「友達とよいところを伝え合う」と「自分にはよいところがある」は、どちらも6ポイントずつ前回を下回りました。高学年となり、様々な取組で学校の中心となり活躍することが期待され始めている5年生です。日々の授業や委員会活動、実行委員活動などで、様々な意見のよさを認めて、よりよい考えを導き出す活動を重視していきます。また、学年行事である自然教室に向けて、責任感や一体感、充実感や達成感を友達と共有して、自己肯定感を高めていきます。お互いのよさを認めたり、励ましあったりすることの大切さを実感するとともに、困難を乗り越えられるたくましさ育てていきたいと考えています。

令和8年度 川崎市学習状況調査 6年生

全国学力・学習状況調査 6年生



|          | 国語 読むこと | 算数 知識・技能 |
|----------|---------|----------|
| R 8 本校6年 | 6 3     | 7 3      |
| R 8 全体6年 | 5 5     | 6 9      |



・「国語の授業がわかる」は3年連続でポイントアップした91ポイントでした。全国調査「国語 思考・判断・表現」や「国語 話す・聞く」、「算数 思考・判断・表現」も全国平均を8ポイント上回る結果でした。教育目標「進んで学ぶ子」の育成に向け、課題や解法を児童自身が「選択・決定」する授業への転換等により、学ぶ意欲を育むとともに、国語・算数における全国平均を上回る確かな学力の維持につながったと考えられます。

・全国調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」は89ポイントで、全国平均を11ポイント上回りました。学級での係活動や学校の委員会活動など、子どもが「自分たちで学校生活を動かしている」「自分の力で乗り越えられた」という実感を持てるよう、日々の小さな「自分で決める機会」を増やすことで、今後も学校目標「自分で考え、自分で判断し、問題解決ができる子」を目指します。

・「友達をばかにしたりからかったりせず、一人一人の心や命を大切にする」は3年連続でポイントアップすることができ、全国調査「人が困っているときは進んで助ける」は、全国平均を上回る97ポイントでした。教育目標「心あたったかい子」に向け、教員の丁寧な言葉遣いをモデルとし、からかいやいじりなど小さな違和感にも毅然と指導することで、一人ひとりの心と命を大切にする風土を教育課程全体で育んできました。